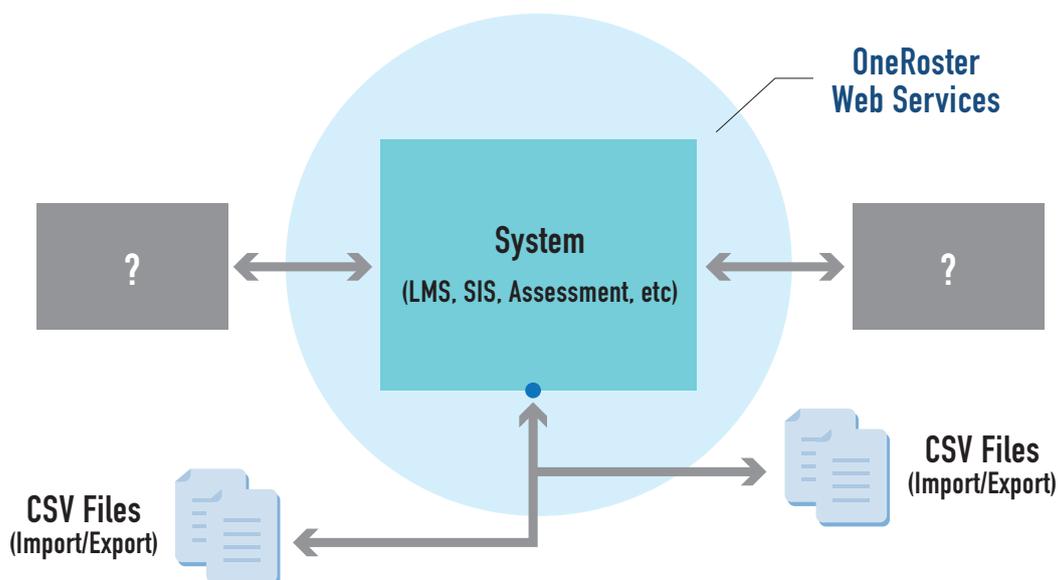


## 1 OneRoster<sup>®</sup>とは

OneRosterは、主にはK-12と言われる幼児・初等中等・高等学校教育において、教育システム間でのクラス名簿、学習コース、履修クラス、成績等の学習データの交換に用いられる技術標準です。主には学生情報システム(SIS: School Information System≒校務システム)と学習管理システム(LMS: Learning Management System)・学習ポータルとのデータ交換に用いられます。

学習データの交換にOneRosterを用いることにより、学校区や自治体内で用いられるさまざまな学習ツール・アプリケーション・学習教材で用いられる学習者データが統合され、一貫性を得られます。

### プロセスフロー図



## 2 OneRosterの特長

OneRosterはCSVファイルとREST APIの、2種類のデータ交換の方法が用意されています。

また、学習者データの提供者(プロバイダー)と受領者(コンシューマー)の2つの役割が用意されており、システム管理者は、校務システムなどのデータ提供側のシステムからCSVファイルをエクスポートし、学習管理システムや学習ポータル等の受領側のシステムへインポートできます。REST APIの場合は、システム管理者によるファイルの操作は不要です。

OneRosterでは、右記の3種類の学習者データを扱います。

OneRoster v.1.2では、それぞれが別々のサービスに分割され、

アプリケーションやシステムの提供者は、サポートするサービスを選択できるようになります。

クラス名簿  
(Class Roster)



教材情報  
(Resources)



成績情報  
(Gradebook Results)



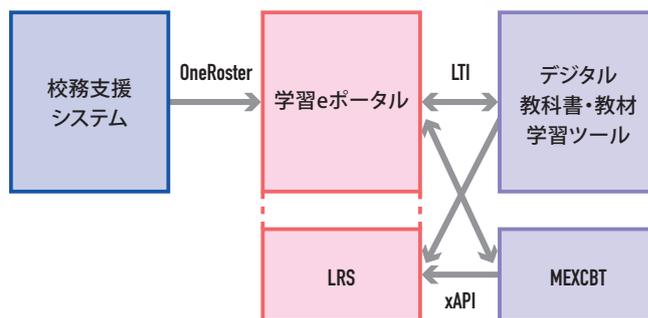
### 3 OneRosterの社会実装事例

#### 校務支援システムと学習eポータル・MEXCBT

文部科学省が提供するオンラインテストシステム「MEXCBT」と、「MEXCBT」を利用する起点となる「学習eポータル」は、文部科学省「全国学力・学習状況調査」の一部試験・調査のプラットフォームとしても採用され、全国の小中学校を中心に、すでに数百万人の教員、児童・生徒によって利用されています。

「学習eポータル」に関する規格やルールを定める「学習eポータル標準モデル」において、教員や児童・生徒の「名簿情報」の起点となる「校務支援システム」と「学習eポータル」間での名簿情報の交換に、OneRosterを使用することが定められています。

ここでは、校務支援システムで管理される管理される名簿情報を一元的に用いることによって、教育委員会や学校等の学習者がデジタル教科書を始めとするさまざまな学習教材、ツールを自由に選択し、学習環境を柔軟に構築できるようにすることが目指されており、すでにその実践が始まっています。



MEXCBT:「文部科学省CBTシステム」の別称。児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的CBT (Computer Based Testing) プラットフォーム。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html)

LRS: Learning Record Store略称。学習システムの有効なアクティビティデータ(学習活動ログ)を格納するデータベース。

文部科学省 教育データ標準 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/data\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/data_00001.htm)

「学習eポータル」まとめページ <https://ictconnect21.jp/document/eportal/>

### 4 OneRoster国内検討部会の活動

#### OneRoster Japan Profileの公開と実装支援

OneRoster v.1.2では、取り扱うべき情報を追加したり、不要な情報の利用の抑制したりして、地域の特性に応じて取り扱うデータをとりまとめる「プロフィール」の作成が推奨されています。

日本1EdTech協会、およびOneRoster国内適用検討部会(略: OneRoster部会)では、OneRoster v.1.2の日本版プロフィール「OneRoster Japan Profile」をとりまとめ、日本国内に公開しています。「OneRoster Japan Profile」は、学習eポータル標準モデルでも参照され、わが国での校務システムと学習eポータル間のOneRosterによる名簿情報交換に用いられます。

この先、1EdTech Consortium内のワーキンググループやProduct Steering Committeeを通して、プロフィールの国際標準化へ向けたプロセスを進めていくとともに、引き続き日本国内での意見収集を進めてまいります。また、OneRoster部会では、これからOneRosterを実装するベンダーに対し、実装に必要な検証環境や検証の場を提供しています。

- 検証環境、学習教材等、OneRoster実装に必要な情報の提供
- 情報共有の場(Slack)の提供
- 相互接続検証(コネクタソンの)運営・企画

お問い合わせ



一般社団法人日本1EdTech協会事務局

E-Mail: [contact@1edtechjapan.org](mailto:contact@1edtechjapan.org)

<https://www.1edtechjapan.org/> (1EdTech Japan Society)

<https://www.1edtech.org/> (1EdTech Consortium)

#### Japan Profileの例

##### OneRoster 1.2 CSV Binding

##### 1. "users.csv"に拡張パラメータを追加

metadata.jp.kanaGivenName : 「氏」のフリガナ

metadata.jp.kanaFamilyName : 「名」のフリガナ

metadata.jp.kanaMiddleName : 「ミドルネーム」のフリガナ

##### 2. "orgs.csv"での制限の追加

"type(種別)"パラメータ:"district"(学区-教育委員会として使用)と"school"(学校)のみを使用する。

##### 3. 文字コードの指定

"UTF-8"を使用する。



1EdTechJ



1EdTech